キャラクター名: Riccarda de fiamma(デ・フィアンマ六花)

プレイヤー名:

シンドローム	サラマンダー エグザイル	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	マフィアの娘
オプショナル		年齢	15	性別	女
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	35 %
出自	母親不在	経験	力の暴走	邂逅	慕情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	4	1	0		3	8
感覚	1	0	0			1
精神	1	0	0			1
社会	2	0	0			2

HP	37
行動値	3
(非装備時)	3
戦闘移動	8
全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	3		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
m		0	6	6(7)		
set(-99)						
set(100-)						
-59						

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
思い出の一品(グローブ)	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
実験体	P	N		
父親	P 尊敬	N 憎悪		
鈍色とまれ	P 信頼	N 無関心		
半田半蔵	P 尽力	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P：	1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
conc:slm	2	2	M	-	-	-	-	
効果：	C値-LV（下限7）							
氷炎の剣	3	3	m	至近	自身	自動成功	-	
効果：	素手ﾃﾞｰﾀ変更・命中-1攻撃力+[LV+5]G6							
地獄の氷炎	5	2	m	至近	自身	自動成功	-	
効果：	ガード値+[LV*3]							
フレイムタン	1	2	M	視界	-	白兵	-	
効果：	射程を視界に・攻-[5-LV]							
憎悪の炎	1	2	M	-	-	synd	-	
効果：	命中時憎悪付与							
ジャイアントグロウス	1	5	M	武器	範囲(選択)	白兵	100	
効果：	対象変更・攻撃+2D							
クロスバースト	3	4	M	-	-	synd	80	
効果：	攻+LV*4・判定ダイス-2個							
フェニックスの翼	2	4	cI	至近	自身	自動成功	-	
効果：	HP回復[LV*5]点							
先陣の火	2	2	set	至近	自身	自動成功	-	
効果：	R間行動値+LV*5・シーン1回							
不死身の炎	3	1d10	set	至近	自身	自動成功	100	
効果：	HP+LV*10・シナリオ1回・戦闘不能で終了							
擬態の仮面	1							
効果：								
不燃体	1							
効果：								
効果：								

実家はマフィア……というのは表向きで、イタリアにおけるUGNの地方支部（ヴェローナがいいな……）であり、父親はボス、つまり支部長。
母体へのレネゲイドウィルス投与実験により感染・出生時の環境変化とストレスから覚醒した。母親は非オーヴァードであり、Riccardaが非常に高温で生まれてきたために出産と同時に死亡。非人道的な実験を許した父にも、その結果母の命を対価に生み落とされた自身にも憎しみを感じている。反抗期も相俟って父との折り合いは悪くなる一方で、母親の面影と足跡を求めて来日。UGN以外で生きられない娘に対する父親のせめてもの愛情からくる計らいであるが、反抗期のRiccaには知ったことではない。
コードネーム"Figlia di Diavolo"は父のコードネーム"Diavolo"から来ているため気にくわない様子だが、燃えるような赤毛を文字通り燃やし踊らせながら戦う姿は悪魔の娘そのもの。
父は偉大であると理解しており、尊敬もしているがこのような経緯で憎しみと隔意を抱いている。

とまれさんのことを姉のように慕っているが、姉もいなければ母もなく、触れれば相手を傷つけると思っているため他人に好意を示したりするのが下手。
コード・マジェンタ調査を経てとまれさんをカバーリングすることを覚えた、なけなしの慕情の発露である。